		の施設運営に関する評価
幕別町独自の	指定管理	ついて、どのような認識
評価制度の		考えを持っているのか。
		町長 ①指定管理考
5 幕別町が行うべき	ける。	行う管理運営に対し、的
事業	(ウ)サービスの提供状況や、	な評価を行う必要性がな
ついて研究・整理をし、早	事業内容、施設の管理状況、	と考える。
急に幕別町独自の指定管理	収支の状況などの評価は部	どのような手法がある
者評価制度の創設をすべき	会が施設ごとに行う。	先進事例等の研究をした
と考える。町長の考えを伺	④評価制度の流れについて。	②現時点では指定管理者
う。	(ア)幹事会による2次評価	度導入施設の評価を確実
①幕別町独自の指定管理者	の実施と審査会への報告。	行っていくことが肝要し
評価制度の創設を進める上	(イ)審査会による所管部課	えており、指定管理者制
で、同制度導入に関する基	へのヒアリングや施設の視	の評価が一定程度確立し
本方針及び評価基準と各施	察調査の実施、施設管理の	から、公共施設全般を対
設に係わる管理基準及び	状況と改善の方向性をまと	とした評価のあり方につ
サービス水準との兼ね合い	め町長に答申する。	て研究したい。
を考え合わせ総体的な評価	(ウ)町長はその答申をもと	③(ア)指定管理者制度
制度とする必要があると思	に、よりよい施設管理に向	円滑な導入及び効果的な
うが考えを伺う。	けて必要な改善措置を実施	用を図ることを目的に
②指定管理者制度を導入し	する。	部・課長職で構成する途
ている施設だけでなく、公	⑤事業評価に係わる各実施	委員会を設置しており、
共施設全般について管理状	主体の役割について。	の施設の管理運営状況の
況の確認や事業評価、いわ	事業評価のための指定管理	価を幅広い視点から検討
ゆる、事業評価システムの	者の役割や、自治体の役割、	きると思っている。現時
構築について。	第3者の役割についてどの	では、これら検討委員会
③評価制度の構図(組織)	ように考えているのか。	評価を行うということも
について。	⑥事業評価に用いるデータ	つの方法と考える。
(ア)指定管理者審査会の設	について。	(イ)評価を効率的に行ら
置。	指定管理者が提出する事業	いうことから、部会のい
(イ)施設を所管する部課を	報告書や、自治体の職員が	の必要性が生じた場合に
審査会の部会として位置づ	行う現地調査情報、利用者	置づける考えでいる。

っる評価に »。現時点 ことも 委員会が ら検討で 「状況の評 目的に、 を確実に し、的確 な認識と 場合に位 会の設置 おり、公 する検討 果的な活 肝要と考 をしたい があるか 管理者が 者制度の 般を対象 確立して 理者制度 管理者制 性がある に行うと 方につい どの声の把握に努めて客観 *د* ک 今後、 的な評価をし、その結果を 利用者からの苦情・要望な や分析などを行ったうえで 役割の一つと考える。 利用者の思いや評価を把握 業報告書を提出することや ⑤指定管理者は、 うのも一つの方法と考える からのヒアリングなども実 じて現地視察や指定管理者 資料等に基づき、必要に応 うことが適当と思っている 的には、第1次の評価を行 生じた場合やヒアリングの 評価に必要とする資料等が により事業内容の履行確認 し、自ら評価をすることも を客観的に行えるよう、事 施することにより行うとい 会が第1次評価の結果及び ④第2次評価は、検討委員 や指導を行っており、基本 管理者の業務の履行の確認 通常、日常業務の中で指定 ると考える。 は当然しかるべき対応をす 各施設を所管する担当部局 必要性がある場合などは、 (ウ)各施設の担当部局 自治体は、事業報告書等 研究を深めていきた 町が評価 は、

> える。 考える。 管理運営の指導面で生かし することも考えられる。 声・評価をデータの一つと 調査を実施し、利用者の 料を求めることもあると考 じ事業報告書を補完する資 る事業報告書や、必要に応 ⑥指定管理者から提出され または町に対して要望等を 町民の立場から指定管理者 制度の改善等を図ることと 伝えることが考えられる。 第3者は、 町としてアンケート 利用者の立 場

> > 議会だ310



される百年記念ホール

斎藤 喜志雄 議員

学力テ 学力向上 道教委は、 ス 対策 昨年実 トの結果と、 は

 建教委は 下回ったことから、「北海 で平均正答率が全国平均を 発表し、学校と町教委に対 たことから、「北海 して学力向上対策の新たな して学力向上対策の新たな かかるとの声も聞こえてく かかるとの声も聞こえてく がっして学力テストと学 をする。

析 こうした結果を町教委はど 平均を下回り、数字の上で Æ ①道内の小・中学生の平 画を実効性あるものとする 環境や学習環境改善の糸口 護者の声に耳を傾け、教育 ②町教委は、教育現場や保 のように受け止め評価・分 は最低レベルとなったが、 ための周辺整備はもちろん を探り、学校からの改善計 しているのか。 答率は、各教科とも全国 均



授業の様子(町内小学校)

東なり改善策(案)を持って具体的にどのような支援る。新年度スタートに向け回上対策の責務を負っていのこと、独自の施策や学力	の問題の正答率が低く、らかとなった。特に文章で答える記述
して学力向上の取組や課題③道教委は、各地教委に対	思考力や表現力の育成り、今後は各教科にお
を求めているが、その具体について地域住民への周知	知識・技能を活用する
応は。	ていく必要があ
りき続き同じ形式で「学力④文部科学省は、本年度も	②学校の教育課程や学識している。
スト」を実施するとし	の専門的事項
校が参加するものと理解しいるが、本町の全小・中学	を学校教育課に配置すを担当する学校教育推
を深るようのであしばいいか。なお、傾向	トナー事
査でも可と考えるが如	校1年生の
。また、町教委自らの	人を超える
忠に基づき参加する意義は。	置してきたが、この事業名の教育活動指導助手を
日長の北海道の小	展拡大し、小学
数学の調査結果の平均正答 字校における国語、算数・	援を行なうため、各学校に限定せず、適切な教育
日っていい、夏、をけが、いずれも全国平均	↓ と∃↓↓↓ に応じ、特別
めている。全国的な傾向と下回っており、重く受け止	豊かな感性や想像支援員を配置してい
に、北海道において	書活動を一層
眶の習得や、学習意欲等の基礎的・基本的な知識・技	達成率の低い小学校にため、学校図書標準の
況は、一定の成果を上	点的に予算配分
つある一方で、知識	<_ °

力・学習状況調査を引き続 いて、改善の取り組みにつ ものと考える。 加していくことが望まし とから、すべての学校が参 深いものと理解しているこ の目的であり、 善に取り組むことこそが真 観的なデータに基づいて改 の実態と成果を把握し、 考にしながら、自校の教育 国や都道府県等の状況を参 ろ、それらを活用して、 力の測定だけでなく、 している。 き、全数調査で実施すると ④文部科学省では全国 お願いをしている。 発信に努めていただくよう 運営協議会においても、機 観点から設置している学校 備をしている。 特集記事として掲載する準 ての概要を広報まくべつで 果と改善の取り組みについ 国学力・学習状況調査の結 いて保護者へ周知している。 の懇談会や学校だよりに ③学校によっては、 会を捉えて、積極的な情報 本調査は、児童生徒の学 開かれた学校を推進する 校長会の協力を得て、全 極めて意義 参観 むし 客 全 学 お 日

前川 雅志 議員

		は、今後次代を担う子ども	どを柱に実施するものであ	
教員のストと	査定別 昇	達の未来のため、全力を挙	実	ムの充
		げて職務を遂行するよう強	に応じた給与を確保するこ	として
給制度の対応	đ	く切望する。	よ	祥の地
		⑤査定昇給制度は、国の人	、組織の活	ティス
北教組が1月30日	学校により勤務時間によ	道	のと理解	クゴル
教委	り、時間帯は多少異なるが、	会で勧告がなされ、年功的	適正な手続きのもとで取り	伝えて
の導入を目指す教職員の査	終業前1時間のストライキ	な給与上昇の抑制、職責に	進めたいと考える。	3711
定昇給制度に反対し、各学	という状況である。会場は	\mathcal{O}		しての
校で1時間の時限ストを決	幕別中央会館である。	勤務実績の給与への反映な		してそ
行した。児童・生徒に対し、	②小学校では管理職やスト	•		ことを
授業や部活動などの影響が	ライキに参加していない教	パークゴルフ場の	の管理と利用は	に他の
懸念される。教育委員会の	職員が対応し平常どおり授			除する
役割と対応について伺う。	業を実施した。中学校では	もうじきパークゴ	かが課題。町の支援を伺う。	と考え
①参加小中学校と参加率、	毎週、事前にカリキュラム	『 ルファーの熱きシー		④ 町 内
非組合員の参加あったか。	を編成しており、結果とし	ズンを迎える。パークゴル	町 長 ①パークゴルフ	設備を
何時から何時のストをどこ	て5時間授業を編成したと	フ発祥の地として、管理や	場の管理業務は、毎週1回	夜
で。	ころがあった。部活動につ	プレーヤーのマナーは他に	に行なう芝刈り	16 日 か
②児童・生徒の授業や部活	いては通常どおり実施した	範となるものでなくてはな	年25回、清掃事業が年27回	日
動に影響は。	学校もあったが、実施しな	らない。パークゴルフのセ	のほか、年3回の肥料散布	⑤ 若 い
③教員の業務に支障をきた	い学校もあった。	ントアンドリュースを目指	る。今後も、芝	ちへの
していないのか。	③ストライキ時間中は支障	し、パークゴルフ場の管理	補修や低木の補植など、良	験して
④教育委員会はこの度のス	があったと認識している。	と利用について伺う。	好な環境に努め、プレイ	普及を
トをどう捉えているか。	結果、2月の給料から1	①パークゴルフ場の管理に	ヤーの皆さんが楽しめるよ	国際協
⑤査定昇給制度と委員会の	時間相当分の給料の減額が	ついて。	う、日常管理を行いたい。	連携し
対応を伺う。	実施された。	上に		どもた
	④ストライキ等の争議行為	日	ナ	⑥ 全 国
教育長①町内全ての小	は、地方公務員法で禁止さ	か。	されていない状況があり憂	祥の地
中学校で実施され、参加率	れており、ストライキに参	④ナイタープレーの利用に		ており
は73.2%、参加者全員が	加したことは極めて遺憾で	ついて。	ーの悪さは普	に努め
北海道教職員組合に所属し	ある。北海道教育委員会に	⑤若年層への普及対策は。	妨げの一因になり大変残念	進、観
ている教職員であり、非組	対し、厳正な処分を行うよ	⑥全国に広めた名前をいか	である。国際パークゴルフ	を前面
合員の参加はなかった。	う求めた。町内の教職員に	に経済発展につなげて行く	、各種講習会で	づくり

りに取り組みたい。 面的にアピールし、町 観光の振興等、知名度 その普及を進めているの性格や、発祥の地と 地として、コミュニても、パークゴルフ発充実を図っており、町等についてのプログラ 間照明点灯期間は6月を設置している。昨年内4コースにナイター 国的にパークゴルフ発にちへ普及をしたい。 る。 フの原点をしっかり 、今後も一層の振興 という認識が広まっ 、若い世代、特に子 会や関係団体などと 普及については、体 世代、特に子どもた ら8月19日までの6 ことは好ましくない 市町村の愛好者を排 考慮すると、結果的 いきたい。 図っている。今後も もらうことを重点に である。

般質問

中野 敏勝 議員



け 婚 l

年 間 ま

5 件 情報化

 \mathcal{O}

す

l

議会たい18

一般質問■

藤原 孟 議員

を進めて観光	-ニックバイウェ	ー イ 構 想
光に南十勝夢街道と	集団と地域に眠る地質学財農村体験型を実行している	地域住民を巻き込んしたい。
トカプチ雄大空間のバイ	ホタテ化石やナウマン	る観光空間作り
ウェイ構想が有る。これは	前	ため、素晴らしい地
地方の自然や文化を発信し、	ら今日までの時間軸を加え	を活かし、商業展開
来るべき体験型の観光ビッ	として4次	びつけるなど、幕団
クバンを迎える取り組みで	時空を楽しむ観光を推進さ	光を「造りだす」レ
あり、手段として報酬型集	せる考えがあるか。	点で捉え、観光物産
団を作るか、忠類カフェの	③忠類カフェの成功で交流	商工会などの意見を
ように民間の知恵と汗を結	人口が増えた。地域の熱意	がら取り組みたい。
集して運営する集団を作る	の高まりを持続するために	②町内をトライアン
カプ	整備	結ぶ観光資源やシー
雄大空間のように、幅広い	循環式トイレ設置など冬枯	バイウェイを進める
連携を行う集団をつくるな	対策に来訪者を呼ぶ進入道	どうしても民間のカ
ど町民は観光振興に向けて	路の除雪を行うべきと考え	になる。住民の方が
熱意をもって参加し取り組	るがどうか。	なことを望んでいる
んでいる。この様な時に行	④体験観光の名所名物づく	十分に聞き、検討を
政として大きなうねりを起	りに団塊世代の熱意をガイ	がら内部でも協議」
こさせるよう諸々の観光施	ド役リーダー役に育成すべ	③駐車場は日によっ
策を講ずべきであるが、町	きと考えるがどうか。	している状況と把握
長の姿勢を問う。		る。トイレについて
②忠類札内幕別市街の三極	町 長 ①南十勝夢街道	のが現状である。
ぶ町独自のト	や十勝平野・山麓ルートの	シーニックカフェ
グルバイウェイ構想を創設	運営団体として、本町から	する団体の代表等の
すべきである。特に道々幕	参加する団体とも十分協議、	くと、トイレについ
大線沿線には現在南勢懇話	連携し、活動団体の発案や	確かに必要性は無い
会による小学生との農村交	運営の自主性を尊重しなが	ないが、仮にトイレ
流会や駒畠そば打道場など、	ら行政としての役割を果た	した場合清掃等が必



、幕別町の観 光物産協会や す」という視 業展開にも結 しい地域資源 作りを進める こき込んだ魅力 間も、1時間未満と短く、 げることは難しい。行政が ④団塊の世代の持つ色々な 直ぐ下に道の駅もあり、ト る。現状では面倒みきれな ために、組織として立ち上 づくりや観光等に活用する 必要がないと伺っている。 イレについては今のところ いという話を聞く。滞在時 ノウハウを、これからの町

> どいう取り組みができるか 先ずは民間の皆さんの意向 検討したい。 等の把握が必要と考える。 後押しすることは必要だが 商工会等の意見も聞き、



でいるのか、 の方がどの様 間の力が必要 進める上で、 やシーニック

検討を重ねな

意見を聞きな

イアングルに

ついても無い と把握してい によって混雑 協議したい。

表等の話を聞 カフェを運営

等が必要とな トイレを設置 は無いわけで については、

景観が素晴らしいシーニックカフェ(忠類)

議会たいの

牧野 茂敏 議員

		した場合、負担金として約	める観点からレジ袋の有料	産品が出回らないときのみ
)		1千9百万円必要となり、	化や、マイバック運動が推	玉
ごみ減量化の	推進を	交付金と差し引いて約1千	。本町の対	上が国内産であ
(440万円程度の財政効果	について伺う。	③平成18年度、町内産生鮮
		がある。	町長 幕別町消費者協	菜の使用割合は15
う 幕別地域では、平	代金が約5千万円の見込ま	③帯広市がキロ当たり4.	、 5 年前から	45%、道外産など
10月にごみ	、ごみ袋作成の費	町	動に取	%である。野菜
集処理が有料化され、3年	差し引いたものが効果とし	町が4円、池田町が3円と	でいる。今後も消費者協会	し、納入業者に可能な
が経過した。有料化により	て見込まれる。	いう状況である。	や商工会などの関係団体と	り、幕別産の野菜を仕入れ
排出量が減少したと言われ	昭和60年から始め	環境問題やごみ減	連携を図り、住民啓発など	るようお願いしている。今
るが有料化後の検証も含め	した られた資源回収実践	し、 量化、 省資源化を進	に取り組みたい。	後もさらに町内産の使用を
て次の点について伺う。	地区協力交付金は、資源の		7	増やすよう努めたい。
①有料化前後でのごみの排	リサイクルごみ減量化に効	安全な給食の	提供がを	④中国産を使用しないこと
出量の変化。	果があり、公区や団体の活			は大変困難だが、冷凍加工
②町民一人当たりの排出量。	動費の一部となっている。	安全な給食の提供	⑦栄養教諭の配置について。	食品の安全性が確認される
③財政効果。	平成16年度からは、単価も	に	教育長①町内の学校給	までは、中国産を使用しな
町長①有料前の平成	キロ5円に引き上げられた	いて伺う。	ーでは、過	いこととしている。
15年度上期と、有料化後の	が本制度の効果について伺	①今年1月、2月に自主回	め使用していない。	⑤平成18年度現年度分の徴
平成19年度上期の比較では、	う _°	加	周知については、各小・	収率は9.5%である。徴
可燃ごみは856トンの減、	①交付金の金額及び交付団	食品の使用実績について又	中学校校長に使用していな	収方法は、各納期終了後、
不燃ごみは301トンの減、	体数、回収量の推移。	その周知について	い旨を連絡し、その後、回	督促状の発布、電話督促、
資源ごみは126トンの増	②財政効果。	②中国産等外国産品の使用	収品が追加されたため再度	臨戸徴収を行っている。
となった。	③近隣市町村の交付金単価	はどの様なものが、又国産	連絡をしたが、各学校での	平成20年度は、内
②平成19年度上期は、平成	町長①有料化前の平	品が主に使用されているも	違いがあ	より乗り切り、平成
15年度上期と比較し、33	成15年度は、62団体が取り	のは。	底を図りたい。	度中には給食運営協議会で
5グラムの減の581グラ	組み、回収量は788トン、	③野菜について町内産、道	②きくらげ、きぬさや、た	改定について協議する。
ム、忠類地域では274グ	交付金は3,147千円で	内産の使用割合、又町内産	けのこ缶等が中国産、パイ	⑦給食センターの栄養士3
ラムの減の686グラムで	あった。平成18年度は忠類	の使用割合を高める方策は	ン缶、スパゲッティ等が外	名は、栄養教諭の資格を取
ある。いずれも全国、全道	地域にて2団体が取り組み、	④中国産品の今後の使用方	国産、調味料として外国産	している。栄
平均を下回っている。	合計65団体、回収量915	針について。	の小麦や大豆等が何らかの	訪問や教職員との連携強化
③ごみの排出量の減や燃料	トンとなっている。	⑤給食費の納入率、徴収方	形で使用されている。	を図り、食育の充実を目指
費高騰による処理費用が増	②公区で回収した資源ごみ	法は。	国産品は、米や牛乳、パ	したい。
加しているが、ごみ袋売払	を環境複合事務組合に搬入	⑥給食費の改定について。	ンである。生鮮野菜は、国	

● 議会だより

芳滝 仁 議員

		度面では新たな施策として、	③平成18年10月に第3次行	れており、成立すると4月
		雇用促進補助金、工業用地	大綱及び推進計画	施が
自主財源の確保を	保を	取得促進補助金を創設した	策定し、自立可能な財政構	本町においても、本年1
		いと考えている。	造の構築を具現化する方策	月に、東京幕別会会員の皆
		「産官学」やプロジェクト	として、使用料・負担金等	さん全員に、ふるさと納税
5 幕別町は現在大変	また、その評価はどうか。	チームは今の段階では考え	受益者負担の検討を進めて	制度が施行された場合の協
な財政難に	③行革大綱推進計画の中、	ていない。	おり、平成22年度までに完	力をお願いした。
いる。	各種手数料・使用料・負担	定住の促進については、	了する計画である。	寄付条例の制定について
国、道からの交付税等の	金の見直しの進捗状況と方	第5期総合計画の中で、新	現時点での進捗状況は、	は、自主財源の確保という
18 年度	向性について平成22年度ま	たに定住施策の推進の項目	へき地保育所保育料、幼稚	観点から、有効な手立てと
質公債比率23.5%で、18	でに見直しを終了するので	を設け、定住人口の拡大を	園保育料及び水道料を、平	考えられ、先進自治体の事
年度単年度では約30%にも	あれば急ぐべきであると考	本町の新たな行政課題とし	成19年度末までに見直しを	例を調査し、納税制度への
なっており、実に苦しい財	えるがどうか。	て位置づけた。	行い、平成20年度から新た	対応、あるいは、本町に現
政状況にある。町において	④新たな自主財源としての	安全・安心なまちづくり、	な使用料金について提案中	在ある、まちづくり基金条
は行財政改革が進められて	寄付条例の制定について伺	子育て支援の充実、住宅環	であり、これら以外の使用	例との整合性などを勘案し
いるが自主財源の確保に力	う。町の特色ある事業等を	境の整備、雇用の場の確保	料等に関しても、今後引き	ながら、今後、検討をして
を入れることが大きな課題	限定し町内はもとより全国	など、様々な施策の充実を	続き検討していく段階であ	いきたい。
となっている。	に寄付を求める施策で「知	図っていくことが、今後の	る _。	
以下4点について伺う。	床羅臼」の基金に2年間で	定住人口の維持、拡大につ	今後も収益と負担の公平	
①企業誘致と定住促進につ	約4千万円寄せられている。	ながると考える。	性の確保を図ることを基本	
いて。	本町はパークゴルフ発祥の	②1月末現在の徴収実績は	に、減免基準の見直しを含	
本年度4月から雇用促進	地であるので、それを中心	5 万 6	めた使用料等の見直しに取	
と用地取得の補助金を創設	とした寄付条例を制定すべ	278円に対し、374万	り組んでいく。	
することは評価するが障が	きだと考えるがどうか。	1,747円、率にすると	④寄付が町づくりの大きな	
い者雇用企業等への柔軟な		16.3%の徴収率である。	支援となっていることを背	
対応が必要だ。又、企業誘	町 長 ①企業誘致対策	効果については、本年度、	景に、寄付の使い道の透明	
致について理事者を中心と	は本町の大きな行政課題で	件の滞	性や、住民の町づくりへの	
したプロジェクトチームを	あり、これまで以上に積極	事案を引継ぎし、均等割額	参加意識が高まるなどの効	
作り「産官学」を立ち上げ	的に取り組むべき施策の一	10万円と引継件数割額、1	果から、新たな自主財源確	
戦略をもって取り組むべき	つと考える。	件13万円で231万円の負	保の制度として注目される。	
だと考えるがどうか。	新年度に向け、体制面で	担をしており、負担額の1.	もう一つの寄付の手法と	
②十勝市町村滞納整理機構	は商工観光課の開発振興係	61倍の徴収実績となってい	して、ふるさと納税制度が	
の実績と効果について伺う。	を企業誘致係に改称し、制	S°	ある。現在、国会で審議さ	

堀川 貴庸 議員

- Andrew	援事業の進め方について、 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 にたの介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下 で、在宅介護保険制度の下	在宅介護について
デットと移動用リフト	 	いて

本町において	援サービス、緊急通報シス	ろ、
保健福祉センター内に設置	テムなど介護保険を補完す	最低
したところである	る事業とも組み合わせ、要	いま
在宅サービスとして、通	支援や要介護の方が住宅に	から
所介護いわゆるデイサービ	おいて安心して暮らせるよ	した
スや訪問介護、福祉用具の	うなサービスの提供に努め	¥
や購入、手すりの設	ている。今後も介護サービ	いて
や段差解消を行う住宅改修	ス等の質の向上を図り、高	をち
費の支給など、様々なサー	齢者の皆さんが住みなれた	実
ビスの利用がある。	地域で自立した暮らしが出	業
本町で実施している食の	来るよう努めたい。	中 64
自立支援サービスや外出支		と 02
		が
受託事業につ	いて	認言論
		てけ
う 本年度で契約期間	定がなされるべきではとの	にょ
『 が満了を迎える委託	声も聞かれるが、町の見解	の 遅
事業について、このほど入	を伺う。	参加
札が執行された。施設等の		基ベ
維持管理業務が主体ではあ	町長 平成15年度から	業
るが、町内事業者にとって	長期契約による委託業務に	の中
は3~5年に一度の機会と	つきましては、平成19年度	行の
して注目を集めていた。	で契約期間の満了を迎える	ŧ
残念ながら、実際には相	ことから、昨年9月及び12	る。
当数の業務につき地元事業	月の町議会定例会で、平成	
者ではなく近隣自治体の事	20年度以降の委託業務に関	業
業者が落札をした結果と	わる期間及び限度額を定め	雇田
なった。	る債務負担行為の議決をい	元奴
地元の事業者にとっても	ただいたところである。	Ļ
ますます経営環境に厳しさ	これを受け、昨年11月と	けた
が増す時代にあって、地元	本年1月の2回に分けて合	
の事業者に配慮した指名選	計69件の入札を行ったとこ	

作用の確保はもとより、地会後においても、町内事 って入札執行を行っていの確保を図れる事業者を 別基準を満たしている者 識している。 地元事業者に落札したと にい。 経済界の 活性化にも 配慮 中から、契約の適正な履 つき、共通的基準及び事 加者に関する指名基準に **寒定には、指名競争入札**より行っているが、指名 は、現在、指名競争入札 平町における入札につい 92. 8%で、大半の業務 64件となり、割合にする 百が受注した業務は69件 傾のあるいわゆる地元事 有し、同種の業務の受注 らの受託業者は全て決定 よしたことから、新年度 低価格入札者と協議が整 、本社又は営業所など にところである。 この結果、幕別町内にお 適切な入札執行に心掛 3件が不落札となり、

介護用

増田 武夫 議員

		広圏域環状線のみずほ以東	た道路特定財源の問題は、	索
道路時主材原の一	役	の整備など大変重要な路線	今、国会で争点となってお	÷
77	が見えてして	と位置付けており、国や道	現	おお
むけ自治材の責任	休の責任をはたせ	などの関係機関に対し、早	明な状況だが、今後も国会	낾
		期改修に向けた要請活動を	での審議を見守り関係機関	书目
うう 道路を造ることだ	∘رۍ ار ۱	続けていきたい。	等と情報交換や意見交換も	恙
け	③一般財源化した財源を地	③暫定税率のあり方も含め	行い、適切な対応をしたい。	ſ
定財源は、東京アクアライ	方に配分すること。			閯
ンのような、無駄で採算の		畑伯・酪農畜産	性農 家に 大する	31
取れない道路建設を続ける	町 長 ①478平方キ			L
「自動装置」となっている。	ロメートルという広大な面	う状にこして		3
また、ガソリン等の暫定	積を有する本町にとって、	品目横断対策の実	町長①本町において	武
税率は、59兆円の道路中期	道路網の整備は今後も必要	に 施、家畜用濃厚飼	は対象品目以外の野菜など	7
計画財源を確保するために、	不可欠な事業と認識してお	料・石油製品の高騰などで、	他の作物を複合的に栽培し	琣
10年間も延長されようとし	り、その財源の確保につい	農業経営は大きな困難に直	ている経営が多く、農業経	画
ている。	ては、町村会など関係機関	面している。	営全体における影響率は十	
町村会などは道路中期計	を通じ国に対し要請してい	中国の冷凍ギョウザ事件	勝農業試験場が試算した5.	17
画推進で動いているが、財	る。現時点では道路特定財	もあって食料の自給率向上	7%を下回ると聞く。	が
政難で苦しむ地方自治体の	源の一般財源化及びガソリ	が望まれており、政府・地	国の補正予算の波及効果	あ
ためには、次のことを政府	ン税などの暫定税率廃止の	方自治体の対策が求められ	については、先進的小麦生	
に求めて町長の責任を果た	働きかけは考えていない。	S°,	産等支援事業が予算化され、	ற
すべきではないか。	②高規格幹線道路は、十勝	次について伺いたい。	北海道に対し、平成19年度	
①東京湾口道路など6本の	の農業をはじめ、観光、物	対策	分の交付金として70億7千	吢
巨大横断道路計画など無駄	流などさまざまな産業に多	への影響と国の補正予算の	万円が交付される予定と	ற
な道路を造り続けるための	大な効果があると期待され、	波及効果は。	なっており、農家の手取り	n
道路特定財源の一般財源化	また、緊急搬送など重要な	②今回の乳価引き上げは不	水準の底上げにつながると	げ
と、ガソリン税などの暫定	役割を担う路線でもあり、	十分。補給金のさらなる引	考える。	去
税率の廃止を働きかけるこ	今後も建設促進期成会・関	き上げを働きかけて。	②平均で7%となる、約30	
ےلی	係市町村と連携を図り、早	③配合飼料の異常補てん金	年ぶりの大幅な乳価の引き	÷
②高規格幹線道路帯広広尾	日けた要請活動	の増額はどうなったか。	上げや、乳価に係る補助金	挼
自動車道の建設を中止して、	続けたい。	直接営農を支援するため水	の単価が、生産者の手取り	珊
国道38号線の拡張や生活道	国道38号線の拡幅を初め、	道料金の引き下げをすべき	ベースで40銭の増加が見込	
路の整備促進を働きかける	道道幕別大樹線の拡幅、帯	と考えるがどうか。	まれ、若干ではあるが酪農	

家の経営の一助になると考 考える。 宮では、一般会計から多額 何助金単価の引き上げが、 えるが、飼料価格や生産資 し、今後も、農協等関係機 晋には十分ではないと認識 14の高騰が続く中、 乳価や 仮対策を講じる予定であり が簡易水道事業での供給で 根立が計上され、 今後も計 成20年度予算では、

異常補 医と連携を図り、補助金の 況状の厳しい

酪農経営の改 **生解願いたい。** ッ、簡易水道料金の引き下 い繰入をしている状況であ ロ、従量料金を減額し負担 のり、営農用で使用する場 は、一部地域を除き大部分 画的な積立を期待している。 ③衆議院を通過した国の平 5き上げを国に働きかけた 〈援策として、畜産緊急支 いは、現時点では難しいと ん基金に対する60億円の 現状の簡易水道事業の経 軽減を図っている。 酪農・畜産農家に対する 酪農・畜産農家への給水

谷口 和弥 議員

		れることや、管内状況を勘	本年度の福祉灯油につい	ここ数年の実績では、事業
「高祉汀曲」の支	の支給付象を広	0)	あくま	
イント いい に うち		⑤本町では、昭和43年当時	措置であり、来年	ている状況にあり、取り扱
人して来年度も実施を	〈施を	油	の実施については、今後の	い金融機関の拡大は現在の
		成18年度からは、社会福祉	格の推	ところ考えていない。
り 北海道では、原	大すべきと思うがどうで	が実施主体	どを	③500万円を限度に運転
油高騰を理由とし	あったか。	生活困窮世帯に対し、歳末	案し、実施の必要性につい	
灯油、ガソリン、軽油、漁	⑤来年度も実施すべきと思	見舞金とともに灯油券を渡	て検討したい。	経営規模や、要望調査を踏
舶用重油などの価格引上げ	うがどうか。	している。		まえた上で、現行の額とし
があいつぎ、道民生活と地				ているが、今後も事業者の
域経済、農漁業、中小企業	町長①75歳以上の高齢	自治伯としての	い中小学者者に	要望を把握し、引き続き金
に重大な影響を与えている。	5 9	向ナと友爰夜り	の広大を	融機関や商工会との協議を
幕別町では、平成19年度	者世帯が210世帯、児童		しまフォ	進めていきたい。
は社会福祉協議会の事業に	扶養手当受給世帯が163	「幕別町中小企業	⑥帯広市などで実施されて	④平成18年度の実績は、1
加え、道からの地域政策総	世帯、特別児童扶養手当受	・ 融資に関する条例」	いる「小規模修繕契約希望	18件、9,654万1千
合補助金を原資の一部にあ	給世帯が6世帯で、合計9	による融資制度は、金利の	者登録制度」を実施すべき	円である。
て、福祉灯油の対象の拡大	75世帯が支給対象となっ	安い制度として中小業者に	と思うがどうか。	⑤平成18年度の実績は、2、
が行なわれた。この制度は	ている。	利用されている。しかし、		191件、1億4,801
支給された多くの町民から	②町内の灯油小売業者に限	より利用しやすくするため	町長①運転資金は、平	万8千円である。
喜ばれ、評価されるもので	定し協力をお願いしている。	に条例改正を求める声も聞	成17年度が融資件数31件、	発注方法は指名願いを提
はあったが、一方で他町と	幕別地区が3ヵ所、札内地	こえてくる。そこで以下の	融資額1億90万円、平成	出している登録業者、過去
の比較を含め、拡充を求め	区が4ヵ所、糠内地区が	点について伺う。	18年度は23件9,070万	に発注実績のある業者及び
る声もあった。そこで、以	1ヵ所、忠類地区が3ヵ所	①近年の資金の種類ごとの	円、平成19年度は1月末現	町で把握している業者の中
下の点について伺う。	の合計13ヵ所である。	融資数・融資金額。	在で、26件1億470万円	から、適切な業者を選定し
①助成対象の区分ごとの支	③12月25日に支給世帯宛に	②指定金融機関の拡大をす	である。設備資金は、平成	U
給対象者数。	申請書類を郵送し、町の	べきと考えるがどうか。	17年度が融資件数14件、融	規模修繕契約希望者
②「幕別町福祉灯油支給要	ホームページや広報1月号	③運転資金を増額すべきと	資額5,192万円、平成	度については、
項」における「町長が指定	において実施内容のお知ら	考えるがどうか。	18年度は16件9,467万	例等の資料収集や運用面な
する事業所」の事業所数と	せをした。	④近年の町の発注する事業	円、平成19年度は1月末現	ど研究しているところであ
大まかな所在地域。	④生活保護受給世帯は、光	のうち、130万円以下の	在で、14件8,363万円	り、制度導入に向けて引き
③支給対象者への制度の周	熱水費等にあたる生活扶助	随意契約の金額と件数。	である。	続き検討したい。
知の方法について。	の基準額のほかに、冬期加	⑤契約行為のない小規模工	②町内の3金融機関を窓口	
④生活保護受給者へ支給拡	算が5ヵ月にわたり支給さ	事・修繕の発注状況・方法	に実施している。	

■ 一 般 質 問 ■

野原 恵子 議員

いて同う。 ぶって次の点につ 1事業所6	対策が必要 実態調査	暮らしたいと願っている障 町内企業	域で安定して働き自立して ある。	れもあり進んでいない。地 び臨時職員	職場環境の遅 度の実績	今の雇用状況に加え障がい 者の雇用	に強化するとしているが、 ②町で任田	がい者の就労支援を抜本的 いう状況	自立支援法が施行され、障 おり、約3	平成18年4月に障がい者 職員1,1	要である。 人、嘱託噂	るが実態を把捉し対策が必 550人、	収入減も明らかになってい 員は51.13	格差が広がる中、町民のの32人の	会問題になっている。 71事業所	無権利に苦しみ、大きな社 査による-	請負・パートなど低賃金と 実施した	や中高年の方々も、派遣・ 町長	将来に希望をもてず、女性	本当に深刻である。青年は ムなどの恐	悪などで将来に不安を抱え ③障がいま	らには社会保障や医療の改 の雇用状況	トラなど雇用の不安定、さ・町の雇用	かかわらず、低賃金・リス ②障がいま	正規、非正規雇用に 非正規率)	国民の働く現状は、 ①町内の豆	い者の自立支援	雇用女策等の弱化で
「のうち、12事業所	立で回答された17	主業の雇用状況は、		員合わせて7名で	心として、正職員及	状況は、平成19年	用している障がい	である。	半数が臨時職員と	146人となって	職員51人、パート	、臨時職員285	12%にあたる1,	、のうち、常雇用職	《所の雇用職員3,	と、回答された1	1事業所雇用実態調	 ①平成18年度に 		設置について。	者のグループホー	、況は。	用状況と町内企業	者の雇用状況は。	-) は。	雇用形態(正規・	を	て障

農だ腸に輸弱検か査輸ての混食いば 薬け菌つ入さ査一率入い不入品まな 検でとい加が体割は食る安しに輸ら 査、添て工あ制と、品。を消農入な で、添も食りのいわの国広費薬冷い の留物大品、貧うず検のげ者が凍。	しくて豊かで安全でなけれ 的にしている。そしておい のにしている。そしておい	より 一ム・ケアホームの指 情報提供などを積極的	③町としては、グループどに従事している。職、製造技能職、販売職な時パート職員8人で、事務用し、常雇用職員14人、臨
給食センターの調理の様子	①輸入食品の使用実態とる。従って次の点についていことが明らかにされていいて行う。	て 制自 づ立	の理解と支援を求め、障がに対して障がいのある方へ整備促進を図り、地域住民により障がい者福祉施設の行い、多様な事業者の参入

センターでは、試験的	ないところがあり、メ	給食センターの力で	入食品のチェック	らない。	あり、他の月もさほど	の使用は、概ね10%程	給食センターでの輸入	育長①1月の幕別	米飯食の回数増	地場産品の更なる活用	 新 む 求 (1) 新 む 求 (1) 新 む 求 (1) (1) (1)
こことこと言語	しており、米飯食を加きた。 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 している。 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 している。 しており、米飯食 しており、米飯食 しており、米飯食 している。 しており、米飯食 している。 しており、米飯食 している。 しており、米飯食 している。 しており、米飯食 している。 したいる。 している。 したいる。 している。 したいる。 したいる。 したいる。 したいる。 <	も求められており、米飯食を加くしており、米飯食を売しており、米飯食を売している。 も求められており、米飯食を加くしている。 も求められている。 も求めるの しており、メ も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求めるの も求められている。 も求める。 も求められている。 も求める。 しており、メ も求める。 も求める。 も求める。 しており、 も求める。 も求める。 も求める。 も求める。 も求める。 もなから、 もながら、 もながら、 もながら、 ものののの もながら、 もながら、 もののののの もののののの もののののののの ものののののののののののののののののののののののののののののののののののの	本設定の品質を認定しており、メンジンを注意しており、 をなれた、自然で、 をなれた、 ものほど、 ななれた、 ものはど、 なた、 ものはど、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 で も求められている。 やすよ、 も求められている。 しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力では しており、 メビーの力でも しており、 メビーの力では しており、 メビーの力でも しており、 メビーの力でも しており、 メビーの力でも しており、 メビーの力でも しており、 しており、 しており、 との力でも しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 しており、 <td>も求められており、米飯食品のチェックは お食を加場の、「「「「」」」」」」、「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「</td> <td> 本設置 本設置</td> <td> 本台、市政の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人</td> <td> 本は、、なく、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</td> <td> ・ な食を、していた。 ・ な食を、していた。 ・ な食を、していた。 ・ な食を、、 ・ な食を、 ・ なん、 ・ なん、</td> <td></td> <td> 本飯食の回数増を、 本飯食の回数増を 本飯食の店と たな食をは たな食を たた、 <li< td=""><td>ンターでは、試験的年度から、幕別学校</td></li<></td>	も求められており、米飯食品のチェックは お食を加場の、「「「「」」」」」」、「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「	 本設置 本設置	 本台、市政の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	 本は、、なく、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	 ・ な食を、していた。 ・ な食を、していた。 ・ な食を、していた。 ・ な食を、、 ・ な食を、 ・ なん、 ・ なん、		 本飯食の回数増を、 本飯食の回数増を 本飯食の店と たな食をは たな食を たた、 <li< td=""><td>ンターでは、試験的年度から、幕別学校</td></li<>	ンターでは、試験的年度から、幕別学校
センターでま、試険的新年度から、 幕別学校	本 た 、 令 後 も の ほ ど 、 安 全 を 確 認 し て 高 品 質 、 利 点 が ら 大 き な 問 思 の 使 用 を 増 や す よ し て い る 。 、 令 後 も 地 場 の 安 全 ・ 安 全 ・ 安 全 ・ 安 空 ・ 安 全 ・ 安 定 い う 大 き な 問 に い う 大 き な 問 思 の 伝 に 、 安 全 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 立 な と に ろ で 生 座 二 ろ で 生 座 二 ろ で 生 定 、 の 長 た 志 に て い る 。 、 、 令 後 も 地 場 の 安 安 全 ・ 安 会 で 生 志 の 度 、 の 使 用 を ず 熟 の 安 安 全 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	拡大、自給率向上の面質検査証をもとしており、米飯食を求めながら、 そとは十分承知している。 ものほど、安全・安心 ものほど、安全・安心 ものほど、安全・安心 ものほど、安全・安心 ものほど、安全・安心 をは十分承知している。 をは十分承知している。 な食材を求めながら、 来飯食を週2. とは、国産農作物の の面 がら、	拡大、自給率向上の力では 約3000000000000000000000000000000000000	拡大、自給率向上の力では ないところで生産 して高品質、利点なところで生産 して高品質、利点なところで生産 して高品質、利点なところで生産 して高品質、利点があり、メ がある。 たた、米飯食を地場の安く がら、 なり、米飯食 を で生産さ がら、 とは十分承知している。 本とは十分承知している。 とは十分承知している。 を たちなの使用を増やすよ ないところで生産 を で生産さ の しており、米飯食 を で生から、 本 の の の の の た の た の た の た の た の た の し て た の し て に の し て に の し て に の し て に の し て の し て に の し て に の し て に の し て の し で 生 た の で し て の し で た の た の し て の し て の し て の し て の し て 、 の し て の し で し て の で し て の し て の し て の し て の し て の た の の で し て の の で し て の で し て の の で し て の の の の の つ て の の の の つ て の し て の の の の の の の の の の の の の	拡大、自給率向上の力では ないところがあり、メ ないところがあり、メ を確認しており、 をは十分承知している。 をは十分承知している。 をは十分承知している。 をは十分承知している。 をは十分承知している。 をは十分承知している。 をはたいう大きしている。 をはたいのチェックは ながら、 を を で 生 を で 生 を で 生 を で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で 生 で ち の し て お の り 、 大 で 生 の し て い る の で 生 で ち で し て い る の で 生 で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で た で し で た で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で 生 で ち で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い る の で し て い う の う て つ て で し て の で し て つ つ て つ て つ て つ て つ て つ て つ し て つ つ つ つ つ て つ し つ つ つ つ つ つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 拡大、自給率向上の面の月もさほど 、各食も地場の分子の力ではらない。 中の品質検査証をもしており、米飯食を確認している。 な食材を求めなどころで生産 やすしており、米飯食を しており、米飯食を しており、米飯食を しており、米飯食を しており、米飯食 たち、 	拡大、自給率向上の面 を 、 の 使用は、概ねの の を に た の に た た た た の 品 の 使 用 た の 品 留 使 る の の た と に ろ の の た の 品 の の た と に ろ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	拡大、自給食センターでの輸入 な食材を求めなど、 な食材を求めなどで生産 たいの使用など、 な食材を求めなど、 な食材を求めた して高品質、利 して高品質、利 して高品質、利 して高品質、利 して高品質、利 して、 た た の して、 た の 使用 を 北 、 の 長 に 、 の り 、 他 の 月 も さ に 、 の 長 に 、 の 長 に 、 の 長 に 、 の 長 に 、 の 長 に 、 の の し て い う 大 き な い の 力 で な た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の の た い ら 、 の の た の し て の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の た の た の の の の た の た の た の の の た の の た の の の た の た の の た の の た の た の の た の の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の の た の の の つ の つ の ろ の の の の の の の の の の の の つ の の の の の の の の の の の の の		 株飯食の回数増を。 本飯食の回数増を。 	も求められている。
センターでは、試験的新年度から、幕別学校も求められている。	数増は、国産農作物の になる。 を に た の 品 質 、 ち の ほ ど 、 今 後 も の ほ ど 、 安 全 を 確 認 し て 高 品 質 、 利 点 な と は 十 分 承 知 し て 高 品 質 、 の を と は 十 分 承 知 し て 高 品 質 、 の を よ の ら 、 の を う し て 高 品 質 、 の も の に と こ ろ で 生 ち の し て う 大 き な と こ ろ で 生 ち の し て 高 品 質 、 の 日 と に ろ の と こ ろ で 生 の ち の と こ ろ で 生 ち の ら 、 の ち の ら 、 の ら 、 の ち の ら 、 の ら 、 の ら の ら 、 の ら の と の ら 、 の ち の ち の ら の ら 、 の ち の ら の ら 、 の ち の の ら の ら の ち の ら の ち の ら ろ の ち の ら の ち の ら の ち の ら の ら の ち の ら の ち の ら の ち の ら ろ の ら の ら の ら の ら の ら の ら ろ の ら の ち の ら ろ の で ろ の ち の ら の ら の ら の ら の う の ろ の ら て の ろ の の ろ の ろ の う の ち の の ろ の の つ 認 の の ろ の の の ろ の の の う の う の ろ ろ の の ろ の ろ	数増は、国産農作物の とは十分承知している。 とは十分承知している。 を食材を求めながら、 を食材を求めながら、 を食材を求めながら、 を食材を求めながら、 をたったきな問題が る。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題が とはから大きな問題が となから、 を食り、米飯食を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食	数増は、国産農作物の たな食材を求めながら、 を施しており、米飯食を り、米飯食を り、 を して 高品質、 利点 が あり、 米飯食 を で 生 の 品質 、 行 を 確 認 して 高品質 、 行 を 確 認 して 高品質 、 引 近 な を る で 生 を 確 認 して 高品質 、 分 を り 近 な を る で 生 の 品 質 、 の お し て 高品質 、 の 号 近 な を う た る で 生 の に ろ が ら 、 の 号 近 な と こ ろ が あ の ら 、 の 号 の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の に ろ の ら の ら の に ろ の ら の ら の ら の に ろ の ら の ろ の と の ろ の ら の と の ろ の ろ の ち の ら の し て の ろ の ら の ろ の こ ろ の ち の ち の ち の こ ろ の ち の ち の ろ の ち の ち の ろ の ち の ち の ら の ろ の ち の ろ の ち の ろ の ろ の ち の ろ の ろ の ち の ろ の ち ろ の ち の ち	数増は、国産農作物の たましており、米飯食 を で た の 品質 た る の 品質 た る た を 確 認 し て 高 品質 、 利 近 な と に と に ろ が あ り 近 な と こ ろ が あ り し て 高 品質 、 令 後 も 地 よ と こ ろ が あ あ し て 高 品質 、 の 品 質 、 の お と こ ろ が あ あ り の よ と こ ろ が あ あ り の よ と こ ろ が あ あ り の よ と こ ろ が た あ り の よ と こ ろ が た あ と こ ろ が た の 品 質 、 の 日 の し て る の に と こ ろ で 生 の と こ ろ で 生 の ら 、 の し て の ら の し て と こ ろ で に ろ の に と こ ろ で に ち の し て と こ ろ で に ち の ら 、 ろ の に ろ で と こ ろ で ち の し て の し て の し て の ら の ち の し て ろ の し て の ち の し の ち の ち の ち の し て ろ の ち の ち の ち の し て ろ の ち の ら の ち の ち と し つ こ ろ で ち の ち の ち の ろ で ち の ち の う の う の ろ の ち の ろ の ろ の ち の う の る ろ の ち の う の う ろ の ち の ろ の ろ の う の う ろ ろ の う ろ の の の ろ の ろ ろ の ろ の	数増は、国産農作物の たな食材を求めながら、 とは十分承知している。 をして高品質、利点があり、米 飯食を で生産 で生産 で生産 で生産 で生産 で生産 で生産 で生産 で生産 で生産	数増は、国産農作物の たいの月もさほど 、 や 後 ものほど、安 を 確 認 し て 高 品 質 、 利 近 な と は 十 分 承 知 し て 高 品 質 、 利 近 な と に っ 品 質 、 利 の 品 賀 、 の 品 質 、 の 品 質 、 の 品 質 、 の 品 の 写 、 の 品 の 写 、 の 品 の 写 、 の 品 の 写 、 の 品 の 号 近 な の と こ ろ が の う 大 き な し て の 品 の 写 、 の 品 の 号 の に な の と こ ろ が の と こ ろ で の ら 、 の う 大 き な の と こ ろ で の ら 、 の う て の ら 、 の う て の ら 、 の う の ら 、 の と こ ろ の ら の ら 、 の う の う の う の ろ の ら 、 の う の う の う て の ら の ら の に ろ の う の う の う の ろ の う の う の う の う の う の	数増は、国産農作物の使用は、概ねの使用は、概ねの使用は、概ねのチェックはらい。 「たったいう大きな問題で生産でして、 「たった」で生産で、 な食材を求めながあり、 とは十分承知している。 して高品質、利金で生産です。 して高品質、利点があり、 とは十分承知している。 して高品質、 など、 など、 など、 など、 など、 など、 など、 など	数増は、国産農作物の食いの食いの食いでの輸入	育民 数増は、国産県の して高品質、利用にの うな食を で生産 での して高品質、 して高品質、 して高品質、 して高品質、 して高品質、 して高品質、 して高品質、 して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の して の う 、 の ち で して の の の ち 、 の う 、 の して い う 大 き 知 して い の う 、 の ち 、 の う 、 の ち の う 、 の う 、 、 の う 、 の ち 、 の う 、 の ち の う 、 、 の して い う 、 の ち 、 の う 、 つ して い う 、 の う 、 の して い う 、 の う 、 の ち い う 、 の ち い う 、 の う 、 、 の う 、 、 の して の う 、 の う 、 、 の して の う 、 の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の して い う 、 の う 、 の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の して の う の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の う 、 、 の う の う の う 、 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う の う の う 、 の う の う 、 の う の う 、 の う の う 、 の う 、 の う の う 、 の う 、 の う の う 、 の う の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う 、 の う の う 、 の う 、 の し の う の う 、 の つ し の う の し の う 、 の つ し の う の し の し の う つ し つ し つ し つ し つ つ し の つ つ し つ し の つ こ の つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ し つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 次、格食の回数増を。 次、各食という大きな問題での な食材を北場の して高品質、利点の して高品質、利点の して高品質、利点の して高品質、利点の して高品質、利点の して高品質、 して高品質、 して高品質、 して高品質、 して高品質、 しており、 たきな問題が たるの たるの<	拡大、自給率向上の面
センターでま、試験的新年度から、幕別学校も求められている。拡大、自給率向上の面	年 、 や で 生 を 確 認 し て 高 品 質 、 利 た お と は 十 分 承 知 し て に ち 。 に と に 十 分 承 知 し て に ち 。 に と 、 つ そ を む 他 場 の 安 全 ・ 安 全 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 定 ・ 安 定 ・ 安 定 ・ 安 定 ・ 安 定 ・ 安 定 ・ 安 空 ・ 安 空 ・ 安 立 で 生 定 、 安 全 ・ 安 む に 、 の ま な に に 、 安 会 で 生 市 弱 知 し て い る 。 、 今 後 も 地 場 の 安 安 全 ・ 安 立 た こ ろ で 生 正 で い る 。 、 二 た さ た 志 問 問 に い う 大 き な 問 問 思 、 の 安 会 で 生 、 つ ま な に に い う 大 き な 問 問 思 、 の 安 会 で 生 定 こ ろ で で 生 定 こ ろ で で 生 定 こ ろ で 生 定 こ ろ で 、 、 二 で い る 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	実施しており、米飯食 とは十分承知している。 して高品質、利点が多 ものほど、安全・安心 ものほど、安全・安心 とは十分承知している。 を後も地場の安くて をで生産さ がら、 を後も地場の安くて して高品質が とは十分承知している。 をして高品質、利点がら、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 を後も地場の安くて として高品質がら、 とはから大きな問題が とはから大きな問題が をしている。	実施しており、米飯食 を確認している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 をは十分承知している。 をは十分承知している。 をは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 をはから大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。 をはから大きな問題が とは十分承知している。 をはから大きな問題が をしている。	実施しており、米飯食 そそで 、 令後も地場の 安全 を 確認して いる。	実施しており、米飯食 を確認している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 を確認している。 を確認している。 をはたがあり、メ をな食材を求めながあり、メ のほど、安全・安心 とは十分承知している。 とはたかすれしている。 とはから大きな問題が る。 をしており、メ して高品質、利点があり、メ しており、 とはたから大きな問題が して になる。 を た を で 生 を で 生 を で 生 を で 生 を で 生 を で 生 を で た を で 生 を で 生 を で 生 を で た を で た を で た の して の に と 、 の と して の して の の た の の た の の して の の して の の の の の の の の の の の の の	実施しており、米飯食を週2. 「現在、米飯食を地場の安くて 「現在、米飯食を地場の安くて 「現在、米飯食を地場の安くて 「して高品質、利点があり、米飯食 をは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは一方子を確認している。 とは一方子をで生産 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 してにしている。 して高品質、利点があり、 とは一方子をで生産 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 してにている。 してにしている。 してにしている。 してにしている。 している。 している。 している。 している。 している。 してにしている。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 してい	実施しており、米飯食 を で 生 の の 使 用 は 、 将 を 確 認 し て 高 品 質 、 名 を を 確 認 し て 高 品 質 、 名 の と は 十 分 承 知 し て 高 品 質 、 の と こ ろ が あ り 、 他 の 月 近 な と こ ろ が あ り 、 他 の 月 の と こ ろ が あ り 、 他 の 月 の と こ ろ が あ り 、 他 の 月 の と こ ろ が あ り 、 の り 、 の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が の と こ ろ が の と こ ろ が あ り 、 の と こ ろ が あ り 、 の 子 の と こ ろ の ち の ろ の ち の ろ の ち の と こ ろ が の ろ の ち の ち の と こ ろ の ら 、 の と つ ろ の ち の ち の ろ の ち の と こ ろ の ら 、 の と こ ろ の ら 、 の と つ ろ の し て の と つ ろ の と つ ろ の ち の と し ろ の ろ の と つ ろ の と つ ろ の と つ ろ の と つ ろ の と つ ろ の ろ の ろ の ち の ろ の ろ の ち の ろ の ろ の ろ の	実施しており、米飯食を週2. 「現在、米飯食を地場の安くている。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 をはたいう大きな問題が して高品質、利点があり、米飯食 をして高品質、利点があり、 とは十分承知している。 をはたいう大きな問題が しての職人	育民 () () () () () () () () () ()	来飯食の回数増を。 来飯食の回数増を。 「こので生産 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	数増は、国産農作物の
センターでは、試験的新年度から、幕別学校も求められている。拡大、自給率向上の面数増は、国産農作物の	現在、米飯食を週2.	現在、米飯食を週2. して高品質検査証をもと して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 とは十分承知している。 を食材を求めながら、 な食材を求めながら、 な食材を求めながら、 なたの使用を増やすよ	現在、米飯食を週2. 現在、米飯食を週2.	現在、米飯食を週2.	現在、米飯食を週2.	現在、米飯食を週2. 、今後も地場のチェックは らない。 して高品質、利点があり、他の月もさほど な食材を求めながら、 な食材を求めながら、 なた、米飯食を週題が して高品質、利点が多 して高品質、利点があり、メ たちいう大きな問題が たち、 たち、 たち、 たち、 たち、 たち、 たち、 たち、	現在、米飯食を週2.	現在、米飯食を地場の使用は、概ね000000000000000000000000000000000000	現在、米飯食を 超る。 、 本 た な た な た で 生 で の た に に の た に に の た に し て に に の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の た の た の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の の た の の の た の の の た の の た の の の の の た の の の た の の た の の の た の の つ の つ で い る の つ た の の た の つ の つ の つ の た の つ の つ の つ た い る の つ た の つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	現在、米飯食の回数増を。 して高品質、利点の方法の を定いう大きな問題の たきながら、 たちのほど、ろで生産 たちのほど、ろで生産 たちのほど、ろで生産 たちのほど、ろで生産 たちのほど、ろで生産 たちのほど、ろで生産 たちのほど、ろで生産 たちの時期 して高品質、利点のチェックは して高品質、利点の たちの方本があり、他の月もさほど して高品質、利点の たちの方があり、 しての 品質、利点の たちの たちの たちの たちの たちの たちの たちの たち	実施しており、米飯食
センターでま、試験的新年度から、幕別学校拡大、自給率向上の面数増は、国産農作物の	一の品質検査証をもと	とは十分承知している。	める。	める。	める。 める。 める。 める。 める。 める。 の品質、利点があり、メ とは十分承知している。 とは十分承知している。 を確認している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはす後も地場の安全・安心 とはから大きな問題が がら、 とはたいう大きなしている。 とはから大きな問題が して高品質、利点があり、メ	める。 める。 める。 める。 める。 して高品質、利点があり、他の月もさほど とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは 本参で生産 があり、他の月もさほど	める。 める。 める。 める。 める。 の使用は、概ね10% 本は ないところがあり、他の 月もさほど、 安全を確認している。 とは 十分承知している。 とは 十分承知している。 とは 十分承知している。 とは 本のほど、 安全・安心 とは 本のして 高品質、 利点さい う大きな問題の チェックは とは 本のして のる。 の を 本認している。 を 本 なの た の の の の の の の の の の の の の	める。 める。 める。 める。 める。 の使用は、概ね10%程 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 をはから大きな問題が あり、他の月もさほど な食材を求めながあり、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題が をむのまた。 をするのをする。 の使用は、概ね10%程 をしてのいる。 とはから大きな問題が しての輸入	お食せ、シュージングングロングングングングングングングングングングングングングングングングング	*飯食の回数増を。 ※飯食の回数増を。 ※飯食の回数増ん ※飯食の回数 <td>現在、米飯食を週2.</td>	現在、米飯食を週2.
センターでま、試験的新年度から、幕別学校も求められている。 拡大、自給率向上の面 も求められている。	産品の使用を増やすよして高品質検査証をもとして高品質、利点が多している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 を後も地場の安くて	産品の使用を増やすよ とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 を食材を求めながら、 な食材を求めながら、 メ	産品の使用を増やすよ ないところがあり、メ ものほど、安全・安心 ものほど、安全・安心 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 して高品質、利点が多 して高品質があり、メ	産品の使用を増やすよ や後も地場の安くて を確認している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはかう大きな問題が あり、メ	産品の使用を増やすよ ないところがあり、メ かいところがあり、メ かいところがあり、メ を確認している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはかう大きな問題が が多く後も地場の安くて とはから大きな問題が	産品の使用を増やすよ た食材を求めながら、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	産品の使用は、概ね0 見 お し て 高品質、利点 が あ り、他の 月 も さ に ど 、 タ そ を 確 認 し て 高品質、利点 が あ り、他 の 月 も さ ほ ど 、 タ ー の 品 質 ん で 生 ン タ ー の 力 で は と こ ろ が あ り、他 の 月 の た と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り、 と こ ろ が あ り 、 と こ ろ が ち の う て と こ ろ が あ り 、 の ち こ ろ で ち の う て と こ ろ で ち の う て と こ ろ で ち の う て ち の う て ろ で ち の う て ろ の う て ち ち の う て ち ろ の ち の う ち こ の ち の う ち う ち う ち う の ち て う ち ろ う ち う ち ち ろ う ち う ち う ち う ち ち う ち ろ う ち ち う ち う	産品の使用は、概ね0月もさほどの使用は、概ね0月もさほど、安全を確認している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題があり、メ	育民 で 市 の 使 用 に 、 今 後 も 地 場 の た た と に 、 や す た に の し て 高 品 質 、 利 他 の 月 も さ に 、 の や た ン タ 一 の 品 の 手 エ ツ ク し て 高 品 質 、 利 他 の 月 も さ に 、 の や た ン タ 一 の の ち な い 。 の チ エ ツ ク し て 高 品 質 、 利 他 の 月 の 夫 エ ツ ク し で の 長 に の チ エ ツ ク し て の 長 に の チ エ ツ ク し で の 長 の の チ エ ツ ク し て い る た こ ろ が あ り 、 他 の 月 も さ に の う が あ り 、 少 し て い る 。 の チ エ ツ ク し て い る 。 で 生 た こ ろ が あ り 、 メ し て い る 。 、 、 、 、 の ち た い う 大 き な に し て い る 。 、 、 、 の ち て い る 。 、 、 ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 、 ろ で 生 こ ろ で 生 こ ろ で 生 こ る で と こ ろ で た よ ち 、 ち ち 、 ち ち ち 、 、 、 、 、 、 、 の 方 、 、 、 、 、 つ し て い る で し て い ら 、 、 、 、 、 、 、 、 う 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	産品の使用を増やすよ 米飯食の回数増を。 米飯食の回数増を。	める。
センターでは、試験的 新年度から、幕別学校 も求められている。 現在、米飯食を週2. める。	一の品質検査証をもと	とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	たまでの品質検査証をもという大きな問題があり、メントンをないところがあり、メントンを確認している。	ないところがあり、メ お食センターの力では ないところがあり、メ ものほど、安全・安心 して高品質、利点があり、メ とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはすんきな問題が	な食材を求めながら、 な食材を求めながら、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題が	な食材を求めながら、 な食材を求めながら、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは して高品質、利点が多い。	な食材を求めながら、 やとは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	な食材を求めながら、 な食材を求めながら、 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題が	育民 の使用は、他の月もさほど の使用は、他の月もさほど ないところがあり、他の月もさほど ないところがあり、それ を確認している。 して高品質、利点があり、と とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは 本参で生産さ と ないる た ないる た た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た ち で の た の た の た ち で の た ち で う て の う の た う ち の た う で う う で う の た つ た う で う の た う た う た う た う た う た う た う た た た う た た う た う た う た う た う た う た う た う た つ た ち た う た う た う た う た う た う た う た う た た た た た う た た た た た た た た た た た た た	常長 1000000000000000000000000000000000000	産品の使用を増やすよ
ビンターでは、試験的 新年度から、米飯食を週2. める。 ま施しており、米飯食 を週2. の面 を求められている。	、今後も地場の安くて とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	、今後も地場の安くて、今後も地場の安くて、今後も地場の安くで生産さしている。とは十分承知している。とは十分承知している。	、今後も地場の安くて、今後も地場の安くて、格という大きな問題がしている。とは十分承知している。とは十分承知している。とは十分承知している。	、今後も地場の安くて、各という大きな問題があり、メ	、今後も地場の安くて、格という大きな問題がしている。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはかが多くたちな問題が	、今後も地場の安くて 、今後も地場の安くて とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	、今後も地場の安くて、格という大きな問題がしている。 して高品質、利点があり、他の月もさほど、 ないところがあり、他の月もさほど ないところがあり、 して高品質、利点があり、 メ たきな問題が る の 伝見 にいる。 とは 十分承知している。 と は 十分承知している。 と は 十分承知している。 と は 十分承知している。 と な り、 を の に を る で 生 を を を で 生 を を で 生 を を で 生 の の の り、 を の の の の の の の の の の の の の の の の の の	、今後も地場の安くて やという大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題が あり、他の月もさほど のんで生産 を確認している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題が	南京 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	*飯食の回数増を。 や後もいう大きな問題の にによった。 をは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とはから大きな問題があり、と とのほど、 をを確認している。 とは やのほど、 をで生産 にての の が の り、他の 月 も さ に の に の の の の の の の の の の の の の の の の	な食材を求めながら、
ビンターでは、試験内 を定められている。	格という大きな問題がとは十分承知している。とは十分承知している。	格という大きな問題がとは十分承知している。とは十分承知している。	格という大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。	格という大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。	格という大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。	格という大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。	格という大きな問題が とは十分承知している。 とは十分承知している。	格という大きな問題が そこで生産さ とは十分承知している。 とは十分承知している。	椿という大きな問題、 ● ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	格という大きな問題、利用の 構築 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本版食の回数増を。 本の品質、利用の 本の品質、利用の 本の品質、利用の 本の品質、利用の 本の品質、利用の 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の品質、 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の	、今後も地場の安くて
ビンターでは、未飯食を地場の安くて、今後も地場の安くて、	とは十分承知している。 全を確認している。 ものほど、安全・安心 して高品質、利点が多	とは十分承知しているとは十分承知している。	とは十分承知しているとは十分承知している	とは十分承知している とは十分承知している。	とは十分承知しているとは十分承知している。	とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	をは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。	育 同 同 同 して高品質検査証をもと とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは、安全・安心 として高品質、利点が多り、他の月もさほど して高品質、一 の方で生産 をない ところがあり、 と して高品質、利点が多している。 と して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して高品質、利点が多い。 して、 の 長 の の 力では と の の の の の の の の の の の の の	*飯食の回数増を。 *飯食の回数増を。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは十分承知している。 とは、安全・安全・安心 として高品質、利点があり、は とは、安全・安全・安心 として高品質、利点があり、は とは、安全・安心 として高品質、利点があり、は として高品質、利点があり、 として高品質、利点があり、 として高品質、利点があり、 ないる ところで生産。 としている。 とは、 の目の、 の目の、 の目の、 の目の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一の、 の一、 の一	格という大きな問題が
ビンターでは、試験内 をよいう大きな問題が をしており、米飯食 を しており、米飯食を り、米飯食を り、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を してまた、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	して高品質、利点が多ものほど、安全・安心ものほど、安全・安心	して高品質、利点が多り近なところがあり、メ	して高品質、利点が多して高品質、利点が多して高品質、安全・安心	して高品質、利点が多して高品質、利点が多いところがあり、メキロの品質検査証をもとものほど、安全・安心ものほど、安全・安心	して高品質、利点が多して高品質、利点が多いところがあり、メキャンターの力では輪入食品のチェックは輪のほど、安全・安心ものほど、安全・安心	して高品質、利点が多して高品質、利点が多いところで生産さないところがあり、メキャンターの力ではいたところで生産さらない。	して高品質、利点が多の使用は、概ね10%程	して高品質、利点が多しての輪入 を確認している。 との品質検査証をもと して高品質、対応している。 とのほど、安全・安心	育 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 に の 使 用 は 、 概 ね の 伊 用 は 、 概 ね の チ エ ツ ク し で の 南 う な い 。 の し て の 内 む に の 男 一 で の 前 入 食 品 の チ エ ツ ク し の 月 も さ ほ 次 の う 本 シ り 、 他 の 月 も さ ほ 次 の う 本 シ い っ の ち な い 。 の う 本 ッ ク は 、 概 ね の チ エ ツ ク し の 方 本 ッ ク は 、 の 長 に の チ エ ッ ク は し の う 本 ッ ク は 、 の 手 エ ッ ク は 、 し て い る 。 の チ エ ッ ク は 、 、 本 い と こ ろ が あ り 、 メ ち い る で ら ま の チ エ ッ ク は し て い る 。 、 メ ち い る で と こ ろ が あ り 、 メ ろ で た ち ら 、 、 ろ で と こ ろ が あ り 、 メ ろ で と こ ろ で た ち の う 、 、 ろ で と こ ろ で た ち の う 、 、 ろ で 、 ち の う 、 、 ろ で ら 、 、 ろ で た こ ろ で た 、 ち の う 、 、 、 、 ろ で ら で よ ら で 、 、 ろ で ら て ち で ら て 、 ろ で ら て ら て う て う て ら て う で ら て ら て ら 、 ろ で ら て ら て う て ら て の 方 で ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て う て ら て ろ の う て ら ち ら て い ろ で ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て ら て う ろ の う て の う う ろ の う ろ の う ろ で ら つ う ろ の う ら て ろ の う ろ の う ろ て ろ の う ろ て ろ の う ら ち ら て う ら て う ら て ろ の う う ら て う の う う う う う う ろ の う う う う う う う の う つ う う う ら て う う う う う う う う こ ろ つ う う う こ ろ つ う つ う つ こ ろ つ う つ う つ う ろ つ う つ う ろ つ う つ こ ろ つ こ ろ つ う つ う つ つ つ つ こ ろ つ こ ろ こ ろ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ こ ろ つ こ つ こ ろ つ つ つ こ つ こ つ つ つ こ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	米飯食の回数増を。 米飯食の回数増を。 米飯食の回数増を。	とは十分承知している
とは十分承知している	ものほど、安全・安心身近なところで生産さる。	ものほど、安全・安心身近なところがあり、メ	ものほど、安全・安心り近なところがあり、メローの品質検査証をもとしている。	ものほど、安全・安心ものほど、安全・安心している。	ものほど、安全・安心ものほど、安全・安心ないところがあり、メインターの力ではくったないる。	ものほど、安全・安心ものほど、安全・安心	ものほど、安全・安心もの使用は、概ね10%程	ものほど、安全・安心ものほど、安全・安心をの使用は、概ね10%程	育民 ①1月の幕別 うびなどころで生産さ ところがあり、米 の使用は、概ね10%程 らない。 10品質検査証をもと とないところがあり、メ り近なところで生産さ と るのほど、安全・安心	*飯食の回数増を。 そを確認している。 ところがあり、社 の品質検査証をもと になところで生産 を を で 生 を を で 生 を を で 生 の り、他 の 月 も さ ほ ど 、 の し の た の た の た の た の た の の た の た の の の の	して高品質、利点が多
センターでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	身近なところで生産さーの品質検査証をもと	身近なところで生産さーの品質検査証をもとしている。	身近なところで生産さーの品質検査証をもとしている。	身近なところで生産される。 そを確認している。 そを確認している。	身近なところで生産されたない。	身近なところで生産さちない。他の月もさほど	身近なところで生産さの使用は、概ね10%程	身近なところで生産さの使用は、概ね10%程 るないところがあり、メ 行の品質検査証をもと しの品質検査証をもと とないところがあり、メ	育 長 ①1月の幕別 育長 ①1月の幕別	身近なところで生産ささの回数増を。	ものほど、安全・安心
センターでは、安全・安心 とは十分承知しており、米飯食 を高の使用を増やすよ をな食材を求めなおり、米飯食 を満しており、米飯食を週2. して高品質、利点が多 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求められている。 も求しており、米飯食 を週2. して高品質、利点が多 たから、 本のしており、米飯食 を週2. して高品質、利点が多 たから、 本のしており、米飯食 をしており、米飯食 を しており、米飯食 を しており、米飯食 を してる。 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	全を確認している。	全を確認している。	全を確認している。 ーの品質検査証をもと ないところがあり、メ	全を確認している。 ーの品質検査証をもと 給食センターの力では 輸入食品のチェックは	全を確認している。 ーの品質検査証をもと すないところがあり、メ 輪入食品のチェックは	全を確認している。 ーの品質検査証をもと ーの品質検査証をもと	全を確認している。 とを確認している。	全を確認している。 とを確認している。	全を確認している。 全を確認している。 ○ ① 1月の幕別	全を確認している。 と と と と と た た を を を を を や た た た た た た た た た た た た た	身近なところで生産さ
レンターでは、 お年度から、 市 が ち の ほ だ 、 今 後 も 地 場 の 使 用 を 増 や す ま た し て お り 、 米 飯 食 を 志 の 使 用 を 増 や す 志 の 使 用 を 地 場 の 安 会 や も 地 場 の 安 会 や も 地 場 の 安 安 会 や も 地 場 の 安 安 全 ・ も 地 場 の 安 安 全 ・ ち 本 地 場 の 安 安 会 で も む 地 場 の 安 安 会 で も 地 場 の 安 安 会 で も 地 場 の 安 安 会 で も 地 場 の 安 安 会 で も 地 場 の 安 安 会 で も 地 場 の 安 安 史 ち 、 、 覧 の 安 史 か ら 、 、 、 、 町 を 志 の 安 史 っ た 、 、 の 安 会 で で 、 、 の 安 会 で 、 、 、 の 安 会 で 、 、 の 安 会 で 、 、 の の 安 会 で 、 、 、 の で 、 、 、 、 、 、 の の 安 会 で 、 、 、 、 の で 、 、 、 、 の で し て 、 、 の で 、 、 、 、 の で し て で 、 、 の で し て て 、 の の で し て で 、 、 の で し て で こ ろ で で て 、 で か ら 、 て 、 、 の つ に 、 、 の の で か ら 、 て 、 の つ に 、 、 の つ し て 、 の 、 の つ し て う 、 の つ し て う 、 の ら 、 、 の つ し て う 、 の ら 、 の で し て う 、 の し て つ た の ら 、 の 、 の の て つ し て う 、 の の て こ ろ で う 、 の の て こ ろ で う 、 の の つ し て う 、 の 、 つ つ て 、 つ こ ろ つ て の つ こ ろ つ こ ろ つ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ て こ ろ つ て こ ろ つ こ ろ つ て つ こ ろ つ て つ こ ろ つ て つ こ ろ つ て こ ろ つ て つ こ ろ つ て つ こ ろ つ て つ こ ろ つ つ こ ろ つ こ ろ つ つ こ ろ つ こ ろ つ て こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ こ こ ろ つ こ こ ろ つ こ つ こ こ ろ つ こ こ こ つ こ つ こ つ こ つ こ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ こ つ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ こ つ つ つ つ つ こ つ つ こ つ つ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	ーの品質検査証をもと	ーの品質検査証をもとないところがあり、メ	ーの品質検査証をもとないところがあり、メ	ーの品質検査証をもとないところがあり、メ給食センターの力では輸入食品のチェックは	ーの品質検査証をもと給食センターの力では輸入食品のチェックはらない。	ーの品質検査証をもとおり、他の月もさほど	ーの品質検査証をもとあり、他の月もさほどないところがあり、メ	ーの品質検査証をもとの使用は、概ね10%程 いところがあり、メ ないところがあり、メ	ーの品質検査証をもと の使用は、概ね10%程 らない。 の使用は、概ね10%程 らないところがあり、メ	ーの品質検査証をもと やいところがあり、メ かいところがあり、そ をない。 とないところがあり、 と ないところがあり、 と た の 長 品 の チェックは と る が あり、 他 の 月 も さほど の 力 で の 輪入 で の 弟 の 、 世 の の 方 の 、 世 の の の の の の の の 方 の の の の の の の の の の	全を確認している。
を 全 を 確 志 大 、 自 治 に た 、 や 後 も の ほ だ 、 今 後 も の ほ ど 、 今 後 も の は 十 分 承 知 し て 高 品 質 、 利 た き な む 間 大 き な 問 に 、 今 後 も の 長 大 、 自 給 室 町 し て 高 品 質 、 利 た き な む 志 ち 、 今 後 も の ま た き な む ち 大 き な 問 志 の で 生 き な む ち 大 き な 問 思 の 使 用 を 求 め な た き な 問 思 の 使 用 を 求 め な た き な 問 思 の 使 用 を 求 め な お ち 、 、 、 に 、 に 、 の 使 用 を 求 助 な た ち 、 の で 生 た 志 の で ち 、 、 の で ち た き な む の た つ た で ち 、 、 の で ち 、 、 の の の で ち 、 、 の の た の の の の の の の の の の の の の		ないところがあり、メ	ないところがあり、メ給食センターの力では	ないところがあり、メ給食センターの力では	ないところがあり、メ給食センターの力では輸入食品のチェックは	ないところがあり、メ給食センターの力ではらない。	ないところがあり、メ給食センターの力ではらない。	ないところがあり、メお食センターの力では いところがあり、他の月もさほど たい。 していの たいの たいの たいの たいの たいの たいの たいの たいの たいの た	育長 ①1月の幕別 育長 ①1月の幕別	たいところがあり、メ 新入食品のチェックは らない。 したシターの力では ど での 執入 での 執入 での 執入 での 執入 での 執入 での 執入 での 執入 での や の た に の た の の た の の た の の た の の の の の の	ーの品質検査証をもと
 中本 中本 中本 小本 (1) (1)	 給食センターの力では やすいの やすいの	 ・・ ・お食 ・お食 ・お食 ・や の使用は、概ね10%程 らない。 ・・ ・他の月もさほど い・ ・は ・おり、他の月もさほど ・にの輸入 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	未飯食の回数増を。 予長 ①1月の幕別 1月の幕別 1月の幕別 11月の幕別 11月の	あり、他の月もさほどの使用は、概ね10%程の使用は、概ね10%程のでの輸入	の使用は、概ね0%程 冷食センターでの輸入 着長 ①1月の幕別	給食センターでの輸入米飯食の回数増を。米飯食の回数増を。	育長(①1月の幕別地場産品の更なる活用	米飯食の回数増を。	地場産品の更なる活用		

110

.

....

中橋 友子 議員

		町長①本町は基幹産	企業に対しPRしていきた	る。
		業である農業を資源とした	<i>د</i> ر ،	改宣
地域産業振興政策について	策について	産業振興の可能性が高い地	新たに1市6町による帯	要でも
		域である。農畜産物、家畜	地域産業活性化協	は。
		排泄物、木材などの生物由	設	また
り 地域経済の疲弊が	存の企業も含めて情報の提	来の資源、バイオマスに関	基づく国の支援な	義を持
『 深刻となり、 幕別の	供や、環境の整備などに取	わる企業や、食品加工、農	用し、地域の	力ティ
10年間の経済状況は、農産	り組むべきである。	業機材分野の企業誘致に努	かした産業の集積と活性化	すべき
物の生産額の他は工業出荷	①地域資源を生かす企業の	めたい。	を図り、地域が一体となっ	
額、商業販売額ともに減少	誘致に力点を。	②幅広い業種の専門的な知	て取り組む体制を整備する。	教育
している。	②企画提案など人材の育成。	識と豊富な情報をもとに、	に	社会の
町は振興策として企業誘	③関係団体と連携した指導	企業に対して企画提案をし	ている。今後とも引き続き	現状な
致に取り組む考えだが、豊	体制。	ていくことは、既存企業の	充	子 ど,
富な地元農産物や資源を生	④工業団地の環境整備。	育成や企業進出への足がか	応したい。	きな古
かし、食品加工など付加価	⑤新たな大型開発は行わず、	りとして重要な要素と認識	⑤現在、土地開発公社が保	揮でき
値をつけ、雇用の場も作る	既存開発地の提供を。	しているが、町独自での確	有している既存の工業団地	の普言
など、循		保育成は、大変難しい面が	への誘致を優先するが、大	るかの
環型の経		あると考える。	規模な敷地を必要とする企	られた
済となる	というという	③北海道や北海道中小企業	冶	案の歯
ような政		総合支援センターはもとよ	Ψ	えてい
策が必要	「「「「」」を	り、十勝圏振興機構での、	団地開発を進めなければな	全国
である。	「「「「「「「」」」	技術開発や地域産業支援、	らないと考える。	児童生
特に輸	田地	物産振興支援などについて、		でなく
入食品の	業団			全国の
安全性が	DΙ	学習皆尊要領の攻定こついて	牧主について	「参考」
題	使中心			て育の生
なってい	分離			び善い
る今日、	1 And a second	「新学習指導要領」	復古的要素が強く、また	目的で
安全な食	「日本の時」のである	の改定案が公表され	「ゆとり教育」を根本から見	いもの
品が幕別	「「「「「「」」	た。	直し、小学校一年生から毎	から、
から提供		内容は一昨年多くの関係	日5時間授業にし、過密な	ない。
されるよ		者の反対を押し切って改定	なっている。形式	
うに、既	「日本の間には	された教育基本法に沿い、	な道徳も取り入れられてい	

る。 6 ものと理解していること 的であり、極めて意義深 善に取り組むことが真の の実態と成果を把握し、 考にしながら、自校の教 童生徒の学力の測定だけ 全国一斉学力テストは、 ていない。 の撤回を求めることは考 れたと理解しており改革 かの観点から検討を加え 普遍的な目的の実現を図 な力をより一層十分に発 べきであり考えを伺う。 テスト」についても中止 を持ち込む「全国一斉学 また学校間格差と競争主 であり撤回を求める考え 改定案の国民的議論が必 国や都道府県等の状況を なく、それらを活用して、 できるよう、いかに教育 どもたちが持っている大 状を見据え、学校、教師、 会の変化や子どもたちの 育長。今回の改訂では、 中止を求める考えは